

著：斎田俊明

ダーモスコピーの診かた・考えかた

書評者：土田哲也(埼玉医科大学教授・皮膚科)

言うまでもないことだが、著者の斎田俊明先生は本邦におけるダーモスコピーのパイオニアであり第一人者である。ダーモスコピーがあまり注目を集めなかった時代からすでに世界に向けて多くの研究成果を発信するとともに、この革新的な皮膚科診断手法をわが国で普及させるために心を砕かれてきた。その普及への着実な努力の過程で、節目となる2つの出来事があった。1つは、斎田先生が中心に編集された『カラーアトラスダーモスコピー』（金原出版）の出版であり、これにより、われわれは本邦において共通の言語と所見認識をもつことができるようになった。そしてもう1つは、その有用性が認められ、少額ながらも保険適用が認められたことである。

こういった背景のもとに、現在では多くの皮膚科医がダーモスコピーを日常診療に取り入れるようになり、診断精度の向上、ひいては皮膚科診療の専門性の向上に大いに貢献することが期待されている。

しかし、ここで大きな問題がある。ダーモスコピーが皮膚科診断

の精度を高めることは証明されているが、それは訓練された医師が診察した場合という前提がある。では、どのようにして訓練するのか。診療の場における熟練者の直接指導が期待できない場合、各地で開催されるダーモスコピー講習会での学習が第一に考えられる。しかし、時間的な制約、細部の学習の不完全さといった問題もある。また、既存の教科書での学習も、煩雑さが先にたち、全体概念の把握、そして実践的な読み取りの訓練までにはどうしても至らないことが多い。

本書においては、そういった問題点に対する配慮が見事になされている。最初の総論はダーモスコピー診断のエッセンスが簡潔にわかりやすく記載され、初めてダーモスコピーの勉強をしようとする皮膚科医も無理なく全体概念が把握できるような仕組みになっている。そして、その基礎知識をもとに診断演習を行うことで、実際の診療上問題になる点を浮き彫りにして、実践に備えるとともに知識の定着を図る配慮がなされている。

肉眼診断と病理診断の両者の関

係を常に考えながら診断を考えてきた皮膚科医にとって、まさしくその橋渡しとなるダーモスコピーは、本来なじみやすい診断手法のはずである。そういった著者の信念のもとに作られた本著では、臨床写真、病理写真との対比でダーモスコピー所見を読み取っていく楽しみも読者に与えてくれる。そして、何よりも、所見・用語の解釈に強い説得力があるのは、欧米の教科書の単なる受け売りではなく、著者自身が多くの症例を実際に診て、そこから発見してきたことを基盤に述べているからに他ならない。

これからダーモスコピーを勉強しようとする方はもちろんのこと、ダーモスコピーに習熟した医師にとっても、本著は知識の整理、思い込みの是正、より実践的な診かたの体得といった面できわめて有益であり、手にとって今一度勉強し直してみることをぜひお薦めしたい。

●B5 頁200 2007年
定価7,560円
(本体7,200円+税5%)
[ISBN 978-4-260-00440-4]
医学書院刊